安全のために必ずお守りください。

⚠ 警告

- **製品を取付ける際は、必ず取扱い説明書等に示している指示を守ってください。**
  またその際、シマノ純正部品の使用をお勧めします。ボルトまたはナット等が緩んだり、製品が破損すると、突然に転倒して重傷を負う場合があります。
- **製品を取付ける際は、必ず取扱い説明書等に示している指示を守ってください。**
  調整が正しくない場合、チェーン外れ等の発生により、突然に転倒して重傷を負う場合があります。
- BR-7900にはST-7900/BL-TT79をご使用ください。BR-7900を従来のロード用STIレバー及びフラットハンドル用ブレーキレバーBL-R770/R550と組合わせて使用しないでください。極端なブレーキの効き過ぎ等の恐れがあります。
- レバーの加工はカーボンの特性上厳禁です。レバーが折れてブレーキ操作ができなくなります。
- 乗車前にカーボンの剥離やクラック等のダメージがないか確認してください。ダメージがあれば修理しないで直ちに新しいものと交換してください。レバーが折れてブレーキ操作ができなくなります。
- 取扱い説明書はよくお読みになった後、大切に保管してください。

使用上の注意

- カーボンレバーはやわらかい布を使って必ず中性洗剤で洗ってください。素材にダメージを与えて強度が落ちる可能性があります。
- カーボンレバーを高温な場所に放置したままにすることを避けてください。また火に近づけないでください。
- 変速に関係するすべてのレバー操作は、必ずフロントチェーンホイールを回しながら行ってください。
- 円滑な操作のため、指定ケーブル及びケーブルガイドをご使用ください。
- インナーケーブルとアウターケーブルの摺動部分が、グリス潤滑された状態で使用してください。
- インナーケーブル内蔵フレームは、ワイヤー効率が悪くSISが働きにくいため、ご使用できません。
- 変速ケーブルには専用グリスを使用しています。DURA-ACEグリスや他のグリスを使用すると変速機能が低下します。
- 通常の使用において自然に生じた摩耗及び品質の劣化は保証いたしません。
- 取扱い方法及びメンテナンスについて疑問のある方は、購入された販売店にご相談ください。

ご使用方法　SI-6RT0A-004

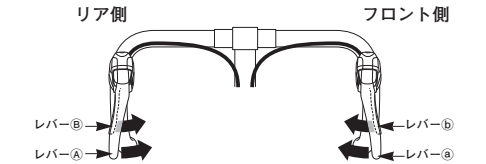
ST-7900

シマノ・トータル・インテグレーション

DURA-ACE

機能を充分に発揮させるために、次のラインナップによる使用を推奨いたします。

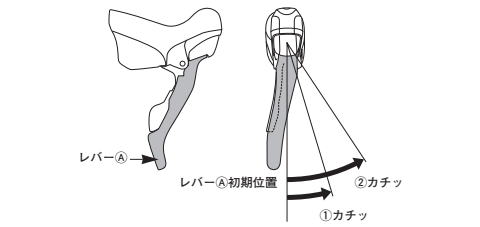
シリーズ	DURA-ACE
シフティングレバー	ST-7900
アウターケーブル	OT-SP41 (SIS-SP41)
スピード	20
フロントディレイラー	FD-7900
フロントチェーンホイール	FC-7900
リアディレイラー	RD-7900SS
フリーハブ	FH-7900
カセットスプロケット	CS-7900
チェーン	CN-7900
ケーブルガイド	SM-SP17
ケーブルアジャスター	SM-CA70 / SM-CA50

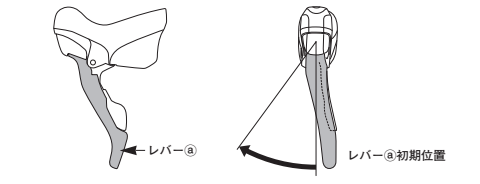
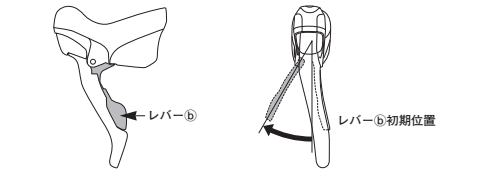
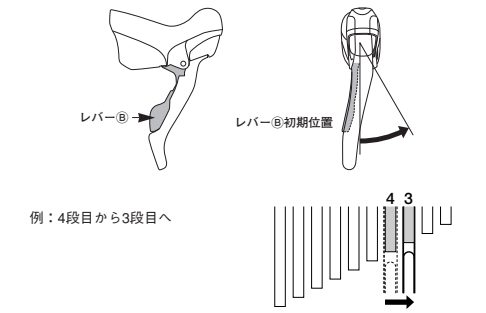
操作変速方法

リア側　フロント側

レバーⒶ：リア小ギアから大ギアへの変速
レバーⒷ：リア大ギアから小ギアへの変速
レバーⓐ：フロント小ギアから大ギアへの変速
レバーⓑ：フロント大ギアから小ギアへの変速

各レバーとも、操作後に指を離すと必ずレバー初期位置に戻ってきます。

■リア側レバーの操作

- **レバーⒶ**………リア小ギアから大ギアへの変速
  レバーⒶには①、②の2ケ所にカチッというあたりがあります。

①：1段分だけ変速
例：3段目から4段目へ

②：2段分一気変速
例：3段目から5段目へ

- **レバーⒷ**………リア大ギアから小ギアへの変速
  レバーⒷを1回押してはなすと、大ギアから小ギアへ1段変速します。

例：4段目から3段目へ

操作時の注意

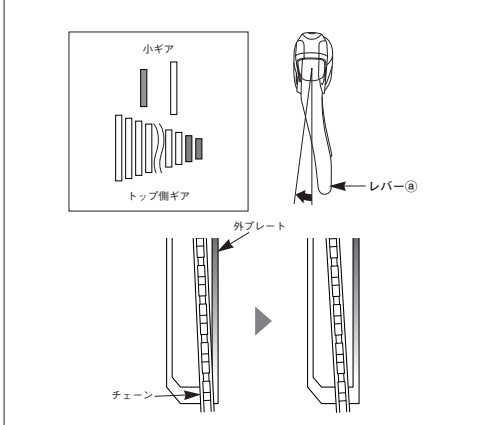
レバーⒶ操作時には、レバーⒷも共に動きますが、レバーⒷには押す力を加えないように注意してください。また、レバーⒷ操作時には、レバーⒶを押さないように注意してください。両レバーに一度に力がかかると変速しません。

RD-7900の取扱い説明書もあわせてお読みください。

■ フロント側レバーの操作

- **レバーⓐ**………フロント小ギアから大ギアへの変速

- **レバーⓑ**………フロント大ギアから小ギアへの変速

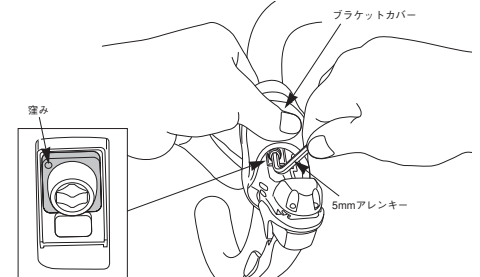
ギアが図の位置で外プレートとチェーンが接触する時はレバーⓐを少し操作して変速機を動かし、接触を解消してください。

操作時の注意（FD-7900）

レバーⓐ操作時には、レバーⓑも共に動きますが、レバーⓑには押す力を加えないように注意してください。また、レバーⓑ操作時には、レバーⓐを押さないように注意してください。両レバーに一度に力がかかると変速しません。

FD-7900の取扱い説明書もあわせてお読みください。

取付け

■ハンドルバーへの取付け

ブラケットカバーを前側から捲り5mmアレンキーで取付けナットを締め付けて固定します。

取付け間座Bは表の小さくなくぼみが左上になるのが正しい向きです。

締め付けトルク：
6 - 8 N·m {60 - 80 kgf·cm}

推奨締付けトルクにおいても、カーボンハンドルの場合には、ハンドルへの損傷ならびに固定不十分となる可能性があります。適切なトルク値に関しては、完成車メーカーまたはハンドルメーカーでご確認ください。

■ブレーキケーブルの取付け

使用ケーブル

- インナーケーブル………… ϕ1.6 mm
  （PTFEインナーケーブル）
- SLRアウターケーブル………… ϕ5 mm

ケーブルは、ハンドルを左右一杯切っても余裕のある長さで使用してください。

1. ネジを緩めてネームプレートを取り外します。

2. 図のようにインナーケーブルを通し、インナータイコをケーブル掛けにセットします。

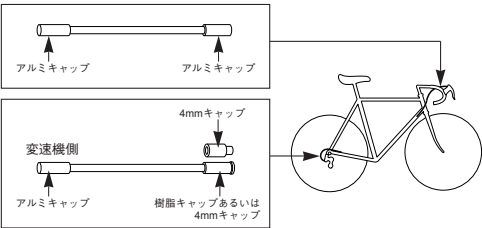
3. ネームプレートを取付けます。

締め付けトルク：
0.15 - 0.2 N·m {1.5 - 2 kgf·cm}

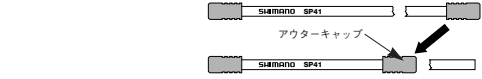
■シフティングケーブルの取付け

- インナーケーブルは専用ケーブルをご使用ください。
- アウターケーブルにはアルミ製キャップをご使用ください。

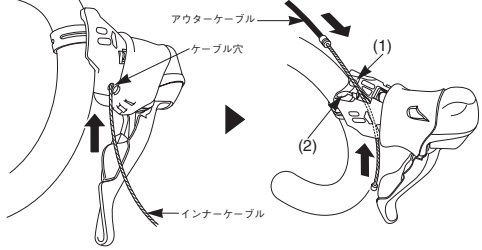
使用ケーブル

- インナーケーブル………… ϕ1.2 mm
  （PTFEインナーケーブル）
- SP41シールドアウターケーブル………… ϕ4 mm

アウターケーブルの切断

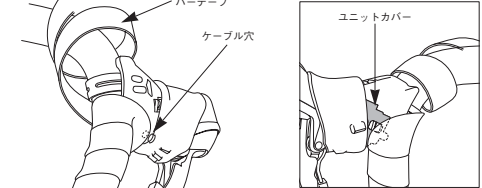
アウターケーブルを切断する場合には刻印の反対側を切断してください。切断後の端面は、外側を真円に戻し、穴の内側を整えてください。

アウターケーブルキャップは、切断後も同一物を使用してください。

●リア側レバー

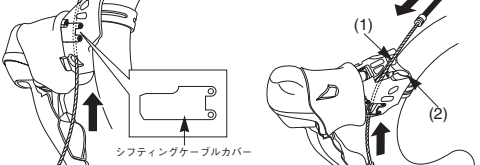
レバーⒷを9回以上押してレバー位置をトップにしてください。

インナーケーブルをケーブル穴に通します。アウターケーブルは①（内側）②（外側）のケーブルガイドで2方向での取り回しが可能です。

インナーケーブル交換時の取り外しの際、図のようにユニットカバーを外すと取り出しやすくなります。

締め付けトルク：
0.2 N·m {2 kgf·cm}

バーテープを巻く場合、ケーブル穴やユニットカバーに掛からないように注意してください。バーテープに掛かるとインナーケーブルの交換ができなくなります。

●フロント側レバー

レバーⓑを1回以上押してからレバー位置をローにしてください。

インナーケーブルをケーブル穴に通します。アウターケーブルは①（内側）②（外側）のケーブルガイドで2方向での取り回しが可能です。

⚠ 注意

必ずシフティングケーブルカバーを取付けて使用してください。怪我の原因となる恐れがあります。

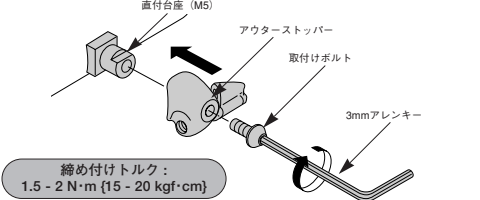
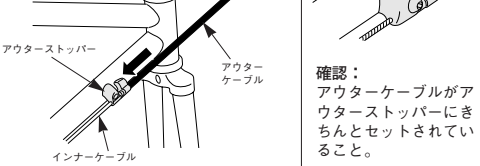
フロント側のユニットカバーの分解は動作不良の原因になりますので行わないでください。

●アウターストッパー

1. ダウンチューブにアウターストッパーを取付けます。

締め付けトルク：
1.5 - 2 N·m {15 - 20 kgf·cm}

つまみ部初期位置　リア側ストッパーはつまみ部を初期位置にして取付けてください。

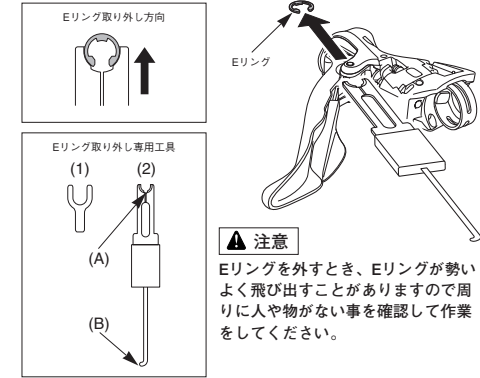
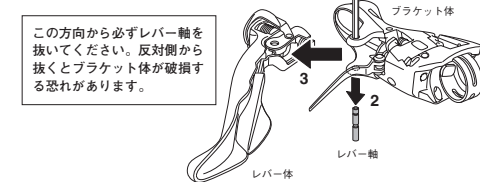
2. インナーケーブルを通し、アウターケーブルをセットします。

アウターケーブルはハンドルを左右一杯に切っても余裕のある長さのものを使用してください。

メンテナンス

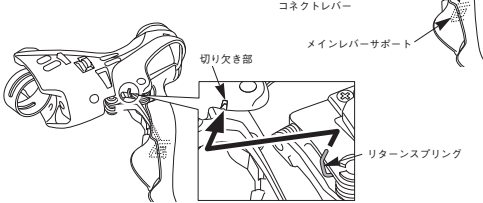
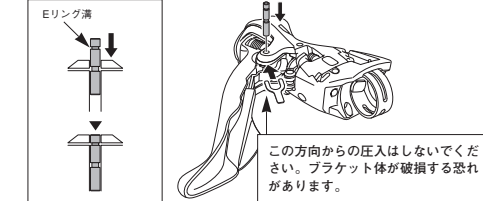
※イラストは右レバーです。

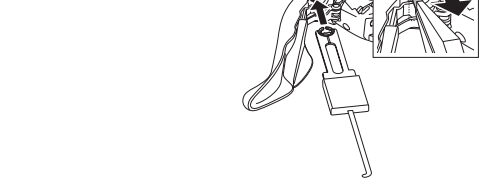
■ブラケット体とレバー体の分解

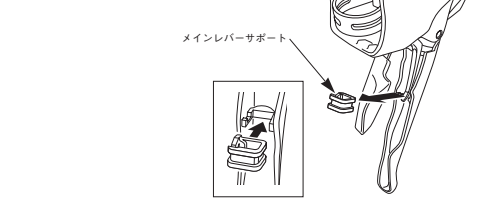
1. 最初に、専用工具を使用してEリングを取り外します。
   専用工具(2)のB部分を使用してEリングを取り外しの向きに合わせます。次にA部をEリングにセットし、取り外します。

⚠ 注意

Eリングを外すとき、Eリングが勢いよく飛び出すことがありますので周りに人や物がない事を確認して作業をしてください。

2. アレンキー等を使用してレバー軸の穴に差し込み、プラスティックハンマーで少しずつ叩きレバー軸を抜き出すと、ブラケット体とレバー体に分解できます。

■ブラケット体とレバー体の組み立て

1. メインレバーサポートにコネクトレバー部を差し込んでからレバー本体とブラケット部を合わせます。次に、リターンスプリングの先端を切り欠き部に差し込みます。

2. 軸穴を一致させて専用工具(1)を図の位置にセットし、レバー軸を圧入します。

- レバー軸のEリング溝が上側になるのが正しい向きです。
- Eリングが溝に入るようにするため、ブラケット体の表面とレバー軸のトップ面がフラットになっていることを確認してください。

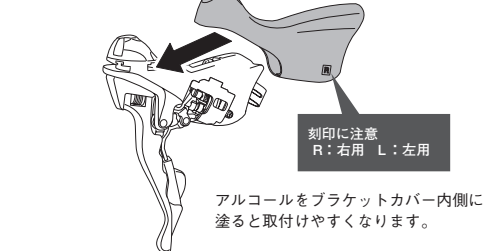
3. 専用工具(1)を取り外し、専用工具(2)でEリングをはめ込みます。

■メインレバーサポートの交換

取付け：レバー体の落ち止めの切り欠き部分に押し込むようにしてセットしてください。

■ケーブルガイドの交換

この穴を利用してケーブルガイドを交換してください。

■ブラケットカバーの交換

ブラケットカバーの各凸部がそれぞれブラケット体の窪みに合うようになっています。

アルコールをブラケットカバー内側に塗ると取付けやすくなります。

＊取扱い説明書は下記にてご覧いただけます。
http://techdocs.shimano.com

お客様相談窓口
☎ 0570-031961　Fax. 072-243-7847
株式会社シマノ
堺市堺区老松町3丁77番地 〒590-8577